

新型コロナウイルス感染症について

相談・受診の目安

1 相談・受診前に心がけてもらいたいこと

- 発熱等の風邪症状が見られるときは、学校や会社を休み、外出を控えてください。
- 発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。
- 現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、かかりつけ医等にご相談ください。

2 帰国者・接触者相談センターに相談する目安

以下のいずれかの場合には我慢することなく帰国者・接触者相談センターにご相談ください。

- 風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合
(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です)
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある場合

※重症化しやすい以下の人は、上記症状が2日程度続く場合にはご相談ください。

- 高齢者
- 糖尿病、心不全、呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患など)の基礎疾患がある方や透析を受けている方
- 免疫抑制剤や抗がん剤を用いている方
- 妊婦(念のため、重症化しやすい方と同様に早めにご相談ください。)

3 相談先について

帰国者・接触者相談センター

- 帯広保健所 0155-26-9084[平日 8時45分～17時30分]
- 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課 011-204-5020
[平日 17時30分～21時00分 土日祝 9時00分～21時00分]
- 厚生労働省電話相談窓口 0120-565653(フリーダイヤル)
[平日土日祝 9時00分～21時00分]

4 相談後、医療機関にかかる時のお願い

- 帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診し、複数の医療機関を受診することはお控えください。
- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット(咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる)の徹底をお願いします。

5 予防対策について

- 一般的な衛生対策として風邪やインフルエンザと同様、「こまめな手洗い」「人混みでのマスク着用」を心がけてください。
- 咳や鼻水、ノドの痛みなどの呼吸器症状がある場合は、マスクを着用するなど咳エチケットを徹底しましょう。
- 食事前やトイレの後、何か作業をした後にはこまめな手洗いをする必要があります。

6 消防主催のイベントや講習会・行事等について

コロナウイルスの感染拡大を防止するため、とちち広域消防局主催のイベントや講習会・行事等について当面の間延期または中止とする場合があります。詳細については各消防署にお問い合わせください。

関連リンク

[北海道のホームページ](#)